

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2021年12月1日 219号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



バイア・ネグラでレダのパクーを販売する滝川君(左)。



パクーは美しい魚



マグノ教授

滝川君

岩澤所長

人工孵化用に母魚を選別する。



冷凍運搬車

**パクーの養殖を通して人々に幸せを！**

美味しく健康的！レダ産パクーの評判です。天然のパクーの棲息環境にきわめて近い条件下で孵化し、育成したパクーは、レダならではの高品質を誇ります。

レダ基地のパンタナール研究所では、アルト・パラグアイ地方における、天然パクーの棲息域の河川水を用いて、2012年12月、初めて人工孵化に成功しました。養殖には、配合飼料を極力抑え、パクーが好んで食べるシロロウヤシ、キダチアサガオなど野生植物の果実と、水田で育ったタロイモの葉や茎をふんだんに与え、かつパラグアイ川から直接汲み上げた水の中で育成することにより、健康的で美味しいパクーを生産してきました。

これまで本紙でお伝えしてきたように、レダ基地では毎年5月から6月にかけて、パクーの稚魚をパラグアイ川に放流し、水産資源の回復を図っています。2013年5月の稚魚放流式典には当時のフランク大統領領が参加され、これが全国に報道されたことによって、私たちの活動が広く知られるようになりました。なお、稚魚の放流は、放流式典においてだけでなく、随時実行しています。

パラグアイ川を航行する船舶の乗組員たちは、レダの沖合を通過する時を楽しみにしていると聞きます。船から小型ボートに乗って、レダの冷凍パクーを買いに来るのです。

また、岩澤所長が冷凍車にレダ産パクーを載せて首都アスンシオンのレストランなどを訪ね、販売した時も、各所で好反応を得ました。また滝川君も去る10月、アスンシオンでパクーの養殖場や販売店を訪れ、市場調査と試験販売を行いました。パラグアイ人にとって、パクーは伝統的に人気の高い食用魚であることに加え、食のプロの目から見て、レダの養殖パクーはとても魅力的だということです。

去る9月、岩澤所長、滝川君ほかのメンバーが、バイア・ネグラ市に行き、レダ産パクーの販売を試みました。まだ大量輸送ができないという事情はありましたが、全部売り切れ、確かな手ごたえを感じたと言います。

現在の課題は、パクーの品質を高く保つたまま、いかに首都アスンシオンや他の消費地に輸送するかということです。現在レダ基地で使っている冷凍設備では、マイナス8℃まで凍らせることができますが、これでは不十分です。マイナス25℃まで冷凍できる設備の導入が必要だということとが判りました。これが実現すれば、(四面につづく)





10月の誕生祝いと中田氏を歓迎するケーキ。11月1日



## レダ基地スナップ

レダに到着した中田欣宏代表理事(前列青シャツ)の歓迎会。11月1日



販売用にパクーを水揚げする西尾君。10月14日



中田 長田 大元  
長田君が農園で育てた枝豆を味わう。11月2日



養豚場での食事は最高！10月17日



10月12日  
ヌワビシさんが種から育てたニンジン。



10月26日  
レダでしか味わえないパクーの刺身。



10月17日  
水落氏が釣ったマングルジュ。  
1.04m  
15kg



10月28日 ピンタード 1.2m  
ビクトリーノさんが釣った大物。



カナン牧場で歩むソレダさん一家とともに。10月22日



# 持続可能な福地建設をめざして(6)

## 人類平等をどう実現するのか

和田賢一



のが含まれています。

それは、ゴール5の「ジェンダーの平等の達成」とゴール10の「国内、国家間の不平等の是正」でしょう。これらの項目に共通しているのは、「平等」という概念です。これは、倫理的、哲学的、かつ宗教的な側面と密接に関係しているからです。

ゴール5の正式な文言は「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性および女の子の能力強化を行う」というものです。そのターゲットとして6点が示されていますが、要約すると、次のようになります。

「すべての女性と女の子への不平等を撤廃する。人身売買、性的搾取、暴力などを排除する。未成年者の早期結婚、強制結婚や女性器切除などの慣行を撤廃する。各国の状況に応じた家庭内、世帯間の男女のさまざまな責任分担の認識・評価を行う。政治、経済、公共の分野で女性の参画とリーダーシップの機会を確保する」

ジェンダーの意味は、普段私たちは男女の平等を指して使っていますが、SDGsでは、政治的、文化的、社会的な分野での男女間の不平等をどう是正していくかという点に限定して論じているのです。

ここで、ジェンダーの不平等に関する一つの指数を例に取りたいと思います。それは、国連開発計画（UNDP）が示したジェンダー不平等指数（GII）というものです。これは、リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）、エンパワーメント、そして労働市場への参加という三つの側面を指数に置き換えたものです。エンパワーメントという

のは、立法府での男女比です。

この指数の算出には146か国が参加、世界の平均値は0.492です。49.2%の割合で男女の不平等があるというわけです。因みに、一位はスウェーデンの0.025、オランダは0.052、デンマークの0.060と続き、日本は0.123で14位です。最下位はイエメンの0.769で7割強の男女間格差があるということです。このほかに男女格差を表す指標には、世界経済フォーラム、列国議会同盟などさまざまな機関が、各種の



パラグアイのディアナ村に新校舎を建設。2003年8月撮影。支援の4年目、日本人の男女が共に汗を流した。学校支援の4年目、日本人の男女が共に汗を流した。学校支援の4年目、日本人の男女が共に汗を流した。

でしようか。有識者の各種論文などを集約すると、次の4点が挙げられます。

第一の問題点は、宗教・思想問題です。宗教教団の教え、運営上の取り決めなどによって生じているというのです。思想面では特定の主義・主張に基づき運営される組織の決まりが格差を生んでいる場合もあるでしょう。

第二に、伝統的な社会構造や風習が今日も生き続けているためでしょう。サハラ以南のアフリカや南

アジアなどでは「児童婚」があり、女性の40%が18歳までに結婚しています。さらに、第三として、家庭内・家庭外の教育の欠如が、現状を打開されないで、格差を温存する形となっていると指摘されています。これは、前回のこのコラムで指摘した、SDGsの「教育」と深い関わりがあります。

第四に「生物学的役割の違い」をあげている有識者もいます。女性が出産・育児が役割であるとする考えが基礎となっているのでしょうか。今では、「イクメン」が叫ばれ、育児を分担する男性が育児休暇を取得するところまで、日本の社会状況が変化してきました。しかし、発想すらできない国や地域があることは事実です。

現在、さまざまな男女格差の解消のために、国連ウィメン、国連開発計画などの国際組織や各国政府、地方自治体、民間団体などがさまざまな取り組みを行っています。わが国では、女性活躍推進法の制定（2016年）、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行（2018年）されました。ここではさまざまな取り組みを詳細に述べる紙幅はありません。

このジェンダー不平等を論じる際に避けて通れないのが、宗教によるアプローチではないでしょうか。これまでの宗教の役割は人類の幸福に多大な貢献をしてきました。その上で、病める現代社会の救済に、今一度積極的に取り組む必要があります。

宗教の本質は、愛の体現、愛の実践に他なりません。宗教間の理解と和解、さらに協力なくして、差別解消への精神的高揚は望めないと思われれます。宗教は得てして、己が教団の教義や活動の優越性を誇示する傾向があるように思えます。問題は、現代社会において個人の救済と世界の平和を実現することではないでしょうか。

そのためには、幅広い意味での教育の重要性が問われています。私たちがパラグアイで展開する諸活動は、男女格差の解消を声高に叫ばずとも、学校建設・公園設置、植林活動などを積極的に進めることにより、豊かな未来への道筋が見えてくるのではないでしようか。（つづく）



# 【見捨てられた地“チャコ”に希望を！】

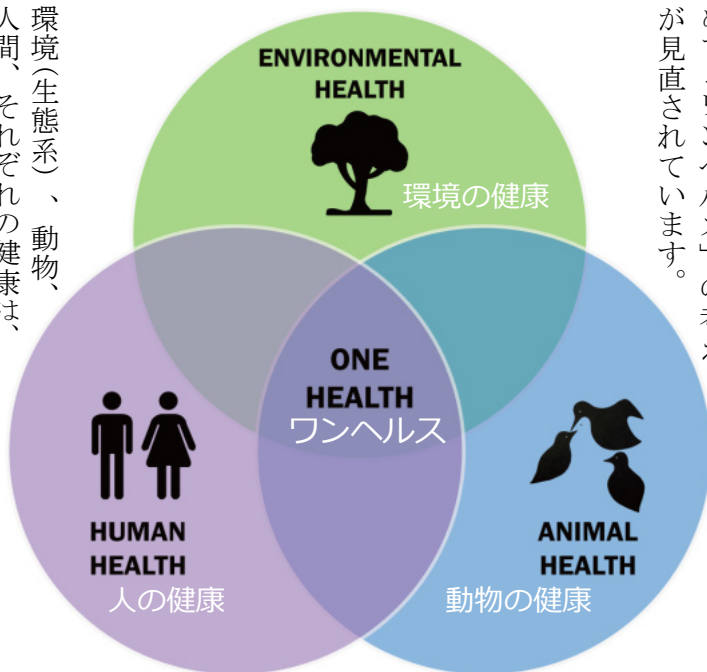
～パクー養殖を通して一人でも多くの人に幸せを～



クラウドファンディング: <https://syncable.biz/campaign/1950/> または上のQRコードから。

**パクー養殖**（二面より続く）レダのパクー養殖事業は生産とマーケティングの面で、より自由に展開できるようにあります。そこで、パクー養殖の現場を担当している滝川君と、青年たちのグループ「レダプロジェクト・ユースボランティアチーム・ジャパン」（本紙203号で紹介）とが力を合わせ、クラウドファンディングで寄付を募って新しい冷凍設備の導入を目指すことになりました。現在すでに進行中です。募集期間は本年12月31日まで。寄付先は当法人（一般社団法人 南北米福地開発協会）です。パクー養殖プロジェクトの構想・新しい展望、クラウドファンディングなどの詳細については、左のQRコードからウェブサイトをご覧ください。

環境（生態系）、動物、人間、それぞれの健康は、相互に深く影響し合っています。病める生き物や病める地球の姿を見ることの多い今日、それを人間自身の問題として受け止めることが当然となりました。そしてまた、個人の健康・家族の健康・人類社会の健康が密接な関係にあることも、今さらながら思い知らされました。健康は幸福の土台なのです。私たちの活動も、神・人・万物が共に幸せに暮らせる福地の建設を目指し、ワンヘルスを追求します。



Wikipedia(英語版)より

**ワンヘルス 検索**

「人と動物と環境の健康は一つ」これが「ワンヘルス=ONE HEALTH」の意味です。それぞれの健康は個々に独立したものではなく、一つのものであるという、きわめて普遍的であり、当たり前のことを言ったものですが、現実には忘れたり、配慮がおろそかになりがちです。新型コロナウイルス(COVID-19)によるパンデミックでもあまりにも大きな犠牲を強いられ、現在も苦しみ続けている人類。そのウイルスの由来についてはまだ不明な点があるものの、このような災禍をこれ以上繰り返さないようにと、改めて「ワンヘルス」の考えが見直されています。

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: [office@asd-nsa.com](mailto:office@asd-nsa.com)

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

## 会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット（印刷済み）、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。

パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>

## レダ・プロジェクト紹介用 パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>